

平成 30 年 9 月定例記者会見

【9 月 6 日(木)午後 1 時／4 階特別会議室】

会見項目

- 1 健康寿命の延伸に向けたシルバーリハビリ体操教室と通いの場の支援について (介護保険課)
- 2 宮古市閉庁式と開庁式について (総務課)
- 3 イーストピアみやこオープニングイベントの実施について (復興推進課)
- 4 ジパング笑楽座について (文化課)
- 5 第 60 回田老地区敬老会について (田老総合事務所)
- 6 第 34 回みやこ秋まつりについて (観光課)
- 7 三陸ジオパーク・ジオサイト(早池峰山)を見学しようについて (観光課)
- 8 第 5 回宮古市長杯スナッグゴルフ大会について (生涯学習課)
- 9 第 11 回いわての森林の感謝祭について (農林課)
- 10 宮古浜焼きフェスタについて (観光課)
- 11 外国客船「スターレジェンド」の寄港について (港湾振興課)
- 12 宮蘭フェリー就航記念「第 24 回宮古市産業まつり」について (産業支援センター)
- 13 第 32 回宮古サーモン・ハーフマラソン大会の参加者募集について (生涯学習課)

会見内容

別紙資料 1 ～ 13 のとおり。

記者との質疑

河北新報記者

資料 1 の「シルバーリハビリ体操」について、参加者と指導者を募って規模を大きくしていこうとする取り組みですか。

市長

いま 7 カ所で行われていますが、内にこもっているお年寄りに外に出てきてもらって週に 1 回運動して健康を保つという効果、一人ではなくみんなで楽しみながら健康寿命を延ばしましょうというもので、参加者、指導者とも増やしたいと思っています。元気な高齢者が指導者となって高齢者を育てていくという活動になります。

岩手日報記者

資料 5 の「田老地区敬老会」について、震災前は毎年行われてきたものだったのでしょうか。

市長

震災前は毎年開催していました。震災後、自治会が解散したりして、自治会連合会の活動ができなくなっていました。

I A T 記者

未明の地震で、室蘭市の青山市長とは連絡取れましたか。

市長

たいへんな時期だと思うので、電話は控えてメールを送りました。返事が来ないので、おそらく対応に追われているものと思います。停電が続いているようなので状況把握にも苦労されているのではないかと察します。物資なども何が不足しているのか分かりませんので、庁内には、要請があったときに迅速な対応ができるよう準備させているところです。

m i t 記者

苫小牧市と災害時の協定を結んでいるということですが、要請があれば職員の派遣もするということですか。

市長

苫小牧市からの支援要請に関しては最大限できることをやります。援助協定に従ってやるということです。

資料 1 健康寿命の延伸に向けたシルバーリハビリ体操教室 と 通いの場の支援 について

◇健康寿命の延伸に向けて

市の取り組み	市では、「健康寿命」を平均寿命に近づけるため、互いに支え合い、住み慣れた地域で安心して生活できる「いきいき健康都市」の実現を目指して、さまざまな施策を推進している。 高齢者福祉については、「いきいきシルバーライフプラン」により、地域包括ケアシステムの推進を図っているところである。 高齢者ができるだけ長く、住み慣れた地域の中で、自立した生活を送るためには、「週 1 回の運動」と「社会参加と交流」が重要と言われている。 市では、身近な場所に運動や交流できる場を作るため、シルバーリハビリ体操教室の開催や、住民が主体となって運営する「^{かよいの}ば」の立ち上げ支援に取り組んでいる。
----------------------	---

1 シルバーリハビリ体操教室の取り組み

教室の始まり	健康寿命の延伸に向けた取り組みの一つである、「シルバーリハビリ体操教室」は、高齢者が「週 1 回の運動のできる^{かよいの}ば」づくりとして、平成 28 年度から取り組みを始めた。
対象者	在宅の高齢者が対象で、どなたでも参加できる。
内容	■週 1 回の運動のできる「^{かよいの}ば」づくりとして、市主催の教室から自主活動への移行を支援している。 ■現在までに、市内 7 地区において、自主運営による「シルバーリハビリ体操教室」が行われている。約 450 人が会員として登録している。 ■参加者からは「体が軽くなった」「足の爪が切れるようになった」という身体的効果のほか、「みんなと集まれて楽しい」「元気になった」などの声をいただいている。 ■「^{かよいの}ば」の運営は、地域の世話役の人とシルバーリハビリ体操指導者が中心となって行っている。

(次ページに続く...)

	■シルバーリハビリ体操指導者は１級～３級まであり、宮古市では３級指導者１１名、２級指導者１５名の計２６名が、ボランティアで活動している。この２６名は、「シルリハおらんど宮古の会」を組織してボランティアで積極的に活動しており、「活動が生活の張り合いとなっている」と話している。
指導者の養成	■体操指導者の養成講習は岩手県が開催している。 ■市では、自主運営の「^{かよいの}場」を増やしていくため、シルバーリハビリ体操指導者の養成に取り組んでいる。 ■概ね６０歳以上の方で、常勤の仕事についておらず、修了後に週１回以上ボランティアで指導活動のできる方が対象となる。 ■県内では、宮古市を含めた１３市町村で、シルバーリハビリ体操指導者が活動している。

２ 「^{かよいの}場」づくりの支援

現状	■市内にはシルバーリハビリ体操教室を含めて約１３０か所以上の「^{かよいの}場」があり、リーダーを中心とした地域の皆さんで運営している。 ■「^{かよいの}場」では運動のほか、お茶やおしゃべりを楽しむ会、手芸などの作品作りを行う会などいろいろな形がある。 ■開催回数も月１～２回から、シルバーリハビリ体操教室のように週１回の開催まで、さまざまある。
活動の支援	市は介護予防教室の開催や、「^{かよいの}場」への介護予防指導員などの派遣などにより、活動の立ち上げや継続を支援している。 また、活動の中心となる人に向けたリーダー研修会やレクリエーション研修会等を継続して開催し、「^{かよいの}場」の活動を支援している。
問い合わせ	市介護保険課 地域包括支援センター（☎６８－９０８６）

資料 2 宮古市閉庁式と開庁式について

趣旨・目的	市役所本庁舎の移転に伴い、現本庁舎での業務を終えることとなることから、ひとつの区切りとして、市民とともに閉庁式を実施する。 また、新しい本庁舎での業務の開始に先立ち、開庁式を実施する。
日時・場所・内容	へいちようしき 【閉庁式】 ■日時 9月28日(金) 午後5時15分～ ■場所 現在の本庁舎 正面玄関前（少雨決行。大雨の場合は6階大ホール） ■次第（予定） (1) 開式の辞 (2) 式辞（市長） (3) 市議会議長挨拶 (4) 市旗降納 (5) 市民歌斉唱 (6) 閉式の辞 ※閉式後、記念撮影 かいちようしき 【開庁式】 ■日時 10月1日(月) 午前8時～8時30分 ■場所 新・本庁舎 正面玄関前 ■次第（予定） (1) 開式の辞 (2) 市旗掲揚 (3) 開庁宣言（市長） (4) 市議会議長挨拶 (5) テープカット（市長等）、くす玉割り（児童・生徒等） (6) 市民歌斉唱 (7) 閉式の辞
特記事項	◎出席者…市長、市議会議長、市議会議員、副市長、教育長、行政委員会委員長、市職員、市民 ◎広報みやこ、防災行政無線等により市民に周知し、参集を呼び掛ける。 ◎開庁式の開式に先立ち、ブラスバンドの演奏を行う（予定）。
問い合わせ	市総務部 総務課 行政係（☎68－9061）

資料３ イーストピアみやこオープニングイベントの実施について

趣旨・目的	市民交流センター（イーストピアみやこ）の完成を記念したオープニングイベントを市民と共に開催するもの。
日時	１０月７日（日） 午前９時～午後８時 ８日（月・祝）午前９時～午後３時
場所	市民交流センター全館
内容	■予定している内容 ◇オープニング餅まき ◇防災ワークショップ ◇工業高校津波模型実演（２地区程度） ◇書道パフォーマンス ◇お茶会 ◇生け花 ◇ヨガ、シルバー体操 ◇パステルアート ◇ミニコンサート ◇絵本お話し会 ◇物産販売（関係自治体など） ◇映画鑑賞会 ほか
特記事項	◎交流プラザで高校生による書道パフォーマンス、和室ではお茶会を予定。 ◎イベント内容の詳細が決まり次第、記者クラブ加盟各社へ資料を提供予定。
問い合わせ	市復興推進課 拠点施設推進室（☎６８－９０８９）

資料 4 ジパング笑楽座について

趣旨・目的	文化庁と、三遊亭小遊三 ^{こゆうざ} 師匠を会長代行とする公益社団法人落語芸術協会の主催による、和の伝承芸を融合させたイベント。日本各地の神社仏閣や日本庭園などを舞台にして、コンサートライティングで幻想的な空間演出のもと、落語、和妻 ^{わづま} 、講談、尺八演奏などを堪能できるショーである。
日時・場所・内容など	■日時 9月8日(土) 午後7時～8時 (開場は午後6時30分) ■場所 津軽石・国登録文化財「盛合氏庭園」 ■出演者 落語：三遊亭遊雀^{ゆうじゃく} 師匠 講談：神田京子^{かんだきょうこ}さん 和妻：ドルフィン、K Y O K O^{キョーコ}さん 尺八：松本太郎^{まつもとたろう}さん 司会：遠山みのり^{とおやま}さん ■入場料 無料。事前申し込み不要。入場整理券も無し。 ■定員 150人程度(当日、先着順に受け付け)
主催	文化庁、公益社団法人落語芸術協会 (企画・製作) 公益社団法人落語芸術協会 (後援) 宮古市、宮古市教育委員会
特記事項	◎今年が初めての開催となるイベント。今年は全国6カ所で行われる。
問い合わせ	市教育委員会 文化課 文化係 (☎65-7526)

資料5 第60回田老地区敬老会について

趣旨・目的	多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに高齢者の福祉についての関心と理解を深め、かつ、自らの健康と生きがいづくりで生活の向上に努める高齢者の意欲を高めることを目的とする。
日時	9月9日(日) 午前10時～正午
場所	グリーンピア三陸みやこ「 ^{じゅんほう} 潤鳳の間」
主催等	主催：田老地区自治会連合会 後援：宮古市、宮古市社会福祉協議会、田老地区民生委員児童委員協議会
内容等	■対象者 75歳以上（昭和19年4月1日以前に生まれた人）で、平成30年9月1日現在、宮古市田老に住所を有し、居住する人。 ※75歳未満の人や、震災を機に田老から田老以外の場所に移り住んだ人も参加可。 ■敬老会の内容 ◇演芸披露 ◇会食 ◇むかしの田老地区のスライド写真を上映 ■参加申し込み 地区の自治会長、または、田老総合事務所へ申し込みが必要。
特記事項	◎合併前、田老町が開催していた田老地区敬老会は、合併を機に田老地区自治会連合会が主催となった。しかし、震災後、被災による生活再建において自治会組織が大きく変わったため、田老地区自治会連合会活動は自粛してきた。 震災から7年が経過した今年、すべての自治会が設立したことを機に、田老地区自治会連合会主催事業を再開することとし、震災後初めてとなる田老地区敬老会を実施することとなった。 ◎今年度は、通算60回目となる^{ふしめ}節目の敬老会となる。 ◎対象者には、敬老会の出欠にかかわらず紅白饅頭を配布する。
問い合わせ	田老総合事務所 住民生活係（☎87-2972）

資料6 第34回みやこ秋まつりについて

趣旨・目的	市民参加型の「手踊り」や「船山車運行」を行うことで、市民の連帯感を深め、活気あるまちづくりに寄与するとともに、宮古市全体の活性化を図る。
期日	9月15日(土)・16日(日)
主催	みやこ秋まつり実行委員会
時間・場所・内容	15日(土)・16日(日)の両日 ■市民手踊りパレード(18:00～) ■船山車運行(18:00～) ■お祭り広場・お祭りステージ[場所＝宮古駅東駐車場] ■子供広場[場所＝三陸鉄道宮古駅前広場] 16日(日)のみ ■ストリートステージ[場所＝あいさつ通り・末広町・中央通] 【特別ゲスト】 ◇浅草サンバカーニバル優勝チーム「仲見世バルバロス」15日のみ ◇北海道ご当地ヒーロー「双嵐龍(ソーランドラゴン)」15日のみ ◇ジャグリング披露「Mr. A p a t c h (ミスターアパッチ)」 ◇マジック・パントマイム・ジャグリング披露「チクリーノ」 ◇宮古市出身お笑い芸人「新鮮なたまご」
特記事項	◎「仲見世バルバロス」は7年連続のゲスト出演。 ◎「Mr. A p a t c h (ミスターアパッチ)」は、TVチャンピオン『ジャグラー王選手権』の初代優勝者。2年連続のゲスト出演。
問い合わせ	みやこ秋まつり実行委員会(☎64-4230)

資料 7 三陸ジオパーク・ジオサイトを見学しよう（早池峰山）について

趣旨・目的	三陸ジオパーク・ジオサイトへの理解を深めてもらうため、ジオサイトとしての早池峰山、また、木の博物館サテライト「ハイマツ大群落」など早池峰の自然を観察しながらの登山イベントを実施し、三陸ジオパークの普及拡大を図る。
日時	9月17日(月・祝) 午前7時～午後5時 ※山頂到着は、正午ごろの予定
集合場所	市役所本庁舎駐車場（新川町） ※小田 ^{おたごえ} 越までバスで移動 ※新里総合事務所、または、川井総合事務所からの途中乗車も可能
主催	宮古市三陸ジオパーク推進協議会
内容	■ガイドと一緒に早池峰山を登山しながら、ジオサイトとしての早池峰山と、植生について学ぶ。 ◇参加対象・・・小学生以上の市民（小学生は保護者同伴のこと） ◇募集定員・・・先着20名 ◇参加料・・・無料 ◇申込期限・・・9月13日(木) ※ただし、定員になり次第締め切り ◇申込先・・・宮古市三陸ジオパーク推進協議会 (市観光課内、☎68-9091)
特記事項	◎荒天の場合は中止
問い合わせ	市観光課 ジオパーク推進係（☎68-9091）

資料 8 第 5 回宮古市長杯スナッグゴルフ大会について

趣旨・目的	子どもから大人まで気軽に楽しめるスナッグゴルフを通じて、岩手県の子どもたちや、子どもたちを囲む大人たちの元気につなげていくことを目的に実施する。
日時	9 月 2 2 日(土) 午後 1 時～3 時 4 5 分 ※荒天の場合は 9 月 2 3 日(日)に順延
場所	ふれあい公園芝生広場(小山田)
主催等	主催：一般社団法人日本ゴルフツアー機構 共催：宮古市、宮古市教育委員会 協力：一般社団法人日本高等学校ゴルフ連盟
内容	■市内の小学 2 年生～6 年生を対象としたスナッグゴルフ大会 (9 ホール合計ストロークで順位を競う) ◇参加料……………無料 ◇申込期限……………9 月 1 3 日(木) ◇申し込み方法…日本高等学校ゴルフ連盟へ所定の参加申込書で F A X するかメールで申し込みのこと (FAX : 06-6379-3583、 E-mail : kidsgolf@jgto.jp)
特記事項	◎平成 2 6 年から開催された大会で今回が 5 回目。 【過去の開催実績】 ・第 1 回大会(平成 2 6 年 5 月 1 8 日、場所：ふれあい公園) 2 4 人参加 ・第 2 回大会(平成 2 7 年 8 月 2 2 日、場所：ふれあい公園) 2 8 人参加 ・第 3 回大会(平成 2 8 年 9 月 3 日、場所：グリーンピア三陸みやこ) 1 6 人参加 ・第 4 回大会(平成 2 9 年 9 月 2 4 日、場所：グリーンピア三陸みやこ) 2 9 人参加
問い合わせ	市教育委員会 生涯学習課 体育振興係(☎ 6 8 - 9 1 2 0) ※大会の詳細については、大会事務局の山田氏(☎ 0 8 0 - 1 2 2 0 - 5 6 8 7)

資料 9 第 11 回いわての森林の感謝祭について

趣旨・目的	森林がもたらす恵みに感謝し、自然を守り育てる大切さを認識するとともに、次世代を担う子供たちに豊かな森林を引き継ぎ、森・川・海とひとが 100 年先も共生していくため、第 11 回いわての森林の感謝祭を宮古市で開催するもの。
期日	9 月 22 日(土)
主催	岩手県、宮古市、公益社団法人岩手県緑化推進委員会
時間、場所、内容	■式典 ◇時間＝午前 10 時～11 時 ◇場所＝グリーンピア三陸みやこ・宿泊棟前広場 ◇内容＝記念植樹、記念標柱の^{こんりゅう}建立を行う ■植樹体験 ◇時間＝午前 11 時 15 分～正午 ◇場所＝グリーンピア三陸みやこ地内・みやこ市民の森 ◇内容＝体験イベントとして、コブシ、ケヤキ、抵抗性アカマツ、ヤマザクラなど 8 種類の樹種の苗木を計 1,600 本植樹する
特記事項	◎参加予定数は約 400 人(県、市町村、森林関係団体、田老地区小・中学校) ◎いわての森林の感謝祭は、毎年、県内各市町村持ち回りで開催していて、 去年は奥州市で開催した ◎グリーンピア三陸みやこ地内「みやこ市民の森」では、平成 21 年度から市民協働型の活動として植樹活動や森林整備活動を行い、自然とふれあう 機会の創出や自然環境学習を行っている。今年度で 10 年目となる。
問い合わせ	第 11 回いわての森林の ^{もり} 感謝祭実行委員会（市農林課内、☎68-9097）

資料 10 宮古浜焼きフェスタについて

趣旨・目的	サンマを中心とする宮古の海産物を活用したイベントを行うことで、観光客の誘致や販路及び消費の拡大を図る。
日時	9月23日(日) 午前10時～午後2時30分
場所	宮古市魚市場隣接岸壁
主催	一般社団法人宮古観光文化交流協会
内容	■主なイベント内容 ◇サンマお振る舞い（先着1,500名） サンマは、会場に用意した炭火の焼き台で、自分自身で焼いて、アツアツを味わってもらうことができる。 ◇サンマつかみ捕り（参加料500円、先着15名） ◇お楽しみダーツ大会（参加料500円、先着15名） ◇大根おろし早おろし大会（参加無料、先着10名） ◇MOPS、MDSなどによるダンスショー ◇黒森神楽
特記事項	◎宮古駅と会場を結ぶ「無料シャトルバス」を運行。 ◎昨年まで実施していた「秋刀魚^{さんま}フェスタ」を「浜焼きフェスタ」と名称を改めた。
問い合わせ	一般社団法人宮古観光文化交流協会（☎62-3534）

資料 11 客船「スターレジェンド」の寄港について

趣旨・目的	客船「スターレジェンド」の宮古港への寄港を歓迎するため、岸壁での歓送迎アトラクションや、市民参加による出迎え、見送りなどを行う。
日時	9月24日(月・祝)(入港：正午 / 出港：午後6時)
場所	宮古港藤原ふ頭(F8バース)
主催	宮古市・宮古港利用促進協議会
内容	入出港セレモニーや岸壁での歓送迎アトラクション、市民参加による出迎え、見送りなどを実施する。 停泊中は地元特産品のお振る舞いなど、和太鼓の演奏などで乗船客をおもてなしする。 ◆入港歓迎：宮古高校吹奏楽部による吹奏楽演奏(予定) 歓迎セレモニー(予定) ◆停泊中：地元特産品のお振る舞いや、地元特産品の販売 サーモンくん、みやこちゃんの着ぐるみの登場 サーモンくん、みやこちゃんのエアートランポリンの設置 ◆出港見送：山口太鼓の会による太鼓演奏 来場者参加によるお見送り ユウダブリュー (U W ビッグフラッグ、大漁旗、カラータオルを使ってのお見送り) ※ 着物、浴衣での見送り参加者に記念品をプレゼント
特記事項	◎客船「スターレジェンド」は、本年5月に続き2回目の寄港。
問い合わせ	市港湾振興課 港湾振興係(☎68-9093)

資料 12 宮蘭フェリー就航記念「第 24 回宮古市産業まつり」について

趣旨・目的	宮古市の地域経済を支える各団体、企業等が一同に会し開催する。 地域生産物の販売や製品・活動展示などを通じ、地域産業への理解を深め、生産意欲の向上を図ることを目的とする。 また、宮蘭フェリー就航を機会とし、北海道との産業交流の拡大を図る。
日時	10月13日(土)午前9時30分～午後4時 14日(日)午前9時30分～午後3時
場所	市民総合体育館
主催	宮古市産業まつり実行委員会
内容	■販売、展示 特産品、地場産品の販売、姉妹都市等物産展、企業紹介など ■イベント オープニングセレモニー（室蘭市YOSAKOI、大仙市昼花火ほか）、ステージイベント、お楽しみ抽選会など ■共催事業 地産地消まつり、小中学生ものづくり体験教室、つどいの広場「すくすくランド」、ラグビー W^{ワールドカップ}杯 2019 釜石開催PR事業「ストリートラグビー体験」
特記事項	◎出店者数 125団体（販売88、展示37）が参加。昨年比6団体増。 ※北海道からの出店…………… 5団体 （室蘭市、苫小牧市、胆振地域） ※北海道以外の関係市町村等からの出店…… 19団体 （黒石市、八幡平市、多良間村、大仙市、神山町、遠野市、山田町、岩泉町、本州四端協議会） ◎内容詳細 10月上旬に、ポスター、チラシとともに報道機関へ情報提供予定。
問い合わせ	宮古市産業まつり実行委員会 （市産業支援センター産業支援係内 ☎68－9092）

資料 13 第 3 2 回宮古サーモン・ハーフマラソン大会の参加者募集について

趣旨・目的	市民の健康と心身の健全な発達を図るため、市民の皆さんにマラソンに親しんでもらうとともに、東日本大震災により被災した方々に対して元気と活力を与え、また、遠来のランナーには、鮭を中心とした宮古の魅力をアピールし、宮古市の復興に資することを目的とする。
日時	11月11日(日) 午前8時(開会式)～
場所	宮古消防署前広場ほか
主催	宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会(宮古市、宮古市教育委員会、株式会社エフエム岩手、一般財団法人宮古市体育協会ほか)
部門	ハーフの部、10キロの部、5キロの部、ペアマラソンの部
申し込み	■参加資格 小学生以上で健康に自信のある人 ■参加料 一般 3,000 円、 高校生・中学生 1,200 円、 ペアマラソンの部 3,500 円 ■申し込み方法 郵便振替、または、インターネット(ランネット http://runnet.jp から申し込み可能) ■申し込み締め切り 9月30日(日)
特記事項	◎ゲストランナー 青山学院大学陸上競技部(4年連続箱根駅伝優勝校) ◎東京マラソンの出走権を3名に ラン アズ ワン トウキョウ マラソン RUN as ONE Tokyo Marathon 2019(一般の部)を活用し、本大会においてハーフの部、または、10キロの部を完走した人を対象に、抽選で3名(男女合わせて)に出走権を贈呈
問い合わせ	宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会事務局 (一般財団法人宮古市体育協会内、☎62-6000)